

「新型コロナウイルス感染症からの元気回復に向けた検討すべきおもな課題等」

【全般】

○関西経済の早期回復対策

感染拡大によりサービス業を中心に消費が著しく減退し、サプライチェーンの寸断や需要減による販売・生産の落ち込みなど、影響を大きく受けた関西経済の早期回復に向けた対策が必要。

○観光・誘客の段階的促進

地域内観光の需要喚起をまず行いながら、次の段階として、他府県からの誘客を促進する。さらに海外からのインバウンド回復に備え、受け入れ体制の整備や魅力ある観光地づくりにも取り組むことが必要。

○第2、第3波に備えた対策

第2波、第3波に備え、医療・検査体制などの整備・充実を図ることが必要。

○「新しい生活様式」の定着

「新しい生活様式」の定着を目指し、テレワークやオンライン会議など人との接触機会を低減する取組が必要。

また、これらを推進するうえで、5Gなど情報基盤の整備を進めることが必要。

○東京一極集中の是正、分権型社会の体制構築

感染症拡大により改めて認識された東京一極集中のリスクを減少・回避し、地方への人の流れ（移住、関係人口の増）を加速させることが必要。

また、非常時における柔軟・迅速な対応のため、より住民に近い立場で権限を行使できる分権型体制の構築が必要。

【おもな個別課題と対応例】

○広域産業振興

(課題)

・新型コロナウイルス感染症の長期化により、経済活動に大きな打撃が生じている。新しい生活様式への転換や新型コロナウイルスとの共存を見据えた、関西経済の活性化対策や社会経済活動の維持・強化に向けた取組が必要。

(対応【検討中】)

- ・ウィズコロナ時代のビジネス戦略セミナーや、首都圏等での地域魅力プロモーションのオンライン実施。
- ・海外プロモーションについては、渡航制限等を勘案し、ネットワークや拠点等を有する現地事業者との連携により実施。
- ・「感染症対策」や「新たな生活様式への転換」を主要テーマとした展示会出展。

○広域農林水産業振興

(課題)

- ・外出、イベント自粛等の影響により花き、果物、学校給食用野菜などに影響がでており、販売機会の創出が必要。
- ・海外渡航制限等により販路開拓・販売促進活動に大きな支障をきたしており、今後の海外輸出についての先行きが非常に不透明になっている。

(対応)

- ・企業の社員食堂等において、販売促進イベントの実施など販売支援を行う。
- ・輸出に取り組む事業者、生産者が安心して実施できるよう現地の最新情報の収集・共有化を図る。

○広域観光振興

(課題)

インバウンドの激減や外出自粛要請による国内旅行者の減少により、観光業が大きな影響を受けている。With コロナのもと、まず国内観光の支援、そして将来的にはインバウンドが戻ってくるまでを見据えた対応が必要。

(対応)

- ・感染対策に配慮のうえ、国内観光客に関西全体を周遊してもらえるよう各地域の魅力発信を行う。
- ・インバウンドの回復に向け、国や経済界等と連携し、海外観光プロモーションなどを行う。
- ・デジタルを中心とした観光プロモーションの展開やWebによる情報発信を行う。

○広域文化振興

(課題)

博物館、美術館等の文化施設は休館を余儀なくされ、芸術活動も自粛するなどしたため、今後の再会や活動継続に大きな影響を受けている。

(対応)

- ・文化施設が賑わいを取り戻せるよう、関西の文化施設ネットワークを活用し誘客施策を実施する。
- ・人が集まらない形式での実演芸術活動の発表の場を提供するなど、関西文化のPRに努める。

○広域医療

(課題)

構成府県市のみでは対応できない場合に備え、関西圏域において効率的・効果的に医療を提供する体制の構築が必要。

(対応)

- ・医療資機材について、地域的な不足が生じた場合には広域的な融通調整を行う。
- ・医療専門人材についても同様の広域的な対応を行っていく。
- ・各地方衛生研究所等の検査処理件数が超える場合に備え、検査体制、能力等の情報共有を図っていく。また、感染症病床数等の情報の共有も行っていく。

○広域防災

(課題)

自然災害と感染症との複合災害への備えが必要。

(対応)

- ・新しい生活様式の定着を推進する。
- ・複合災害を見据え、避難所等での対応や相互応援体制の構築を図っていく。
- ・大規模災害に備えた「防災庁」の創設を推進する。

○広域環境保全

(課題)

感染症予防対策を講じながらも、楽しく環境学習ができるよう情報発信が必要

(対応)

- ・環境学習の機会が増えるよう、圏域内の環境学習の場となる施設等の新型コロナウイルス対策を含めた情報を整理し、広域連合のホームページで情報発信する。